

日本固有の領土である北方四島の国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島の日も早い一括返還を、スズキ労連は連合の仲間と一緒に、強く求めています。

9月22日(土)～23日(日)にかけて、「連合2007平和行動in根室」が行われ、全国から約1500名の組合員が集まり、スズキ労連からは自動車総連の仲間とともに、白井中央執行委員、柴田前中央執行委員が参加いたしました。初日には、北方領土学習会が行われ、北方四島の現状について学習。世界遺産を知床から北方四島へ広げてはどうかといった内容のセミナーが開催されました。2日目には、2007平和ノサップ集会在行われ、元島民は「平均74歳、日本政府がロシア政府を動かすためには、日本の国会議員が、日本の国民が、「北方領土は北海道だけの領土ではない!日本の領土だ」と考えて行動を起こしてほしい!」といった切実な心境を訴えました。

この集会は6月の「2007平和行動 in 沖縄」から始まり、8月の広島・長崎を経て、9月の根室へと続いた連合2007平和行動を締めくくる集会となりました。スズキ労連ではこれらの平和行動への参画により見たこと、聞いたこと、感じたことを組合員と共有化することで平和運動をひろげ、いまなお続く悲劇の風化をくい止め、そして各地での切実な願いが政府を動かすまで協力を続けるつもりです。



集会の様子(9月23日、納沙布岬・望郷の岬公園で)



全国から約1500名の組合員が参加。



スズキ労連からは白井中執、柴田前中執が参加。



スズキ労連

第36回  
定期大会  
特集号

静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会  
発行人 加藤 幸博  
編集人 光田 玄

第36回定期大会開催

“安心の未来”に向けて  
後半期スタート。



代議員116名、傍聴者26名が参加。冒頭、加藤会長の挨拶。

議長団 左:松浦 洋明(スズキ磐田支部・支部書記長) 右:辻 定之(部品富山・副執行委員長)

スズキ労連は9月16日(日)、スズキ労働会館大ホールにおいて代議員116名、傍聴者26名の参加のもと、第36回定期大会を開催いたしました。

大会では35期の一般活動経過、会計決算が報告され承認を受けました。また議件として役員選挙・政治顧問委嘱・第36期予算(案)が提案され、全議件が満場一致で可決・決定されました。

大会内で実施された役員選挙では平塚新中央執行委員が信任され、新しい顔を迎えた第36期の執行部のもと、「安心の未来」にむけた後半一年間の活動が力強くスタートいたしました。

スズキ労連 今後の主な活動

- 【11月】  
10日(土) ナイスハートふれあいのスポーツひろば (湖西市アメニティプラザ)  
11日(日) スズキ労連 政策制度討論集會 (スズキ労働会館)
- 【12月】  
16日(日) 2007オールスズキクリスマスフェスタ (グランドホテル浜松)

各加盟単組定期大会開催日

◎岐阜スズキ労働組合	第3回定期大会	10月25日(木)
◎小楠金属・熱処理労働組合	第26回定期大会	10月26日(金)
◎スズキ精密工業労働組合	第43回定期大会	10月27日(土)
◎遠州精工労働組合	第2回定期大会	10月27日(土)
◎平岡ボデー労働組合	第46回定期大会	10月28日(日)
◎スズキ部品浜松労働組合	第40回定期大会	10月28日(日)
◎スズキ輸送梱包労働組合	第39回定期大会	10月28日(日)
◎スズキ部品秋田労働組合	第35回定期大会	10月28日(日)
◎スニック労働組合	第28回定期大会	10月28日(日)
◎浜松パイプ労働組合	第4回定期大会	10月28日(日)
◎ベルソニカ労働組合	第47回定期大会	11月 3日(土)
◎エステック労働組合	第23回定期大会	11月10日(土)
◎スズキ新潟販売労働組合	第5回定期大会	11月22日(木)

読者プレゼント

抽選でデジタルオーディオ2台  
プレゼント!!

今後、スズキ労連機関紙で取り上げてもらいたい記事・情報についてご意見・ご要望を募集いたします。単組名(支部名)・職場・氏名を明記のうえ下記アドレスまでe-mailにてご応募下さい。応募された方の中から抽選で2名の方にデジタルオーディオプレーヤーをプレゼントいたします。

mitsuda@suzuki-union.or.jp

※件名は“読者プレゼント”として下さい。  
※当選された方は機関誌内で氏名等をご紹介させていただきます。

応募締切:12月14日(金)



Qoolqee X  
デジタルオーディオプレーヤー (256MB)  
振動と水に強い、スポーツ志向のデジタルプレイヤー。  
重さわずか28gでクリップ付き。  
◎MP3/WMA/ASF/OGGファイルに対応  
◎リチウムポリマー電池内臓 ◎FMラジオも聞ける。

「アクアとと・岐阜」・「ラグーナ蒲郡」割引券は  
労連HP Topページよりプリントアウトできます!  
パスワード:saw2007



「スズキ労連」機関誌に対するご意見・ご要望が  
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20(スズキ労働会館内)  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail:mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>  
\*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関紙  
新閲覧パスワード…saw2007

【編集後記】労連専従となって早一年…。なにをやっても成長の跡は見当たりませんが  
顔の老け具合は加速度を上げています。(次長2)

来賓として自動車総連の加藤会長、7月の参議院議員選挙において比例代表区で当選された自動車総連組織内議員の池口修次議員、同じく静岡県区で当選された榛葉賀津也議員にご臨席いただき、ご挨拶をいただきました。政局が混乱し、極めて多忙な中でのご臨席でしたが、来賓の方々は選挙時におけるスズキ労連加盟単組、組合員の協力に対し、繰り返しお礼を述べられました。また参議院において民主党が第一党となったことで、勤労者の立場に沿った政策制度の実現に大きな弾みがあったことを強調されていました。

来賓のみなさん



自動車総連・加藤会長

「来年に向けた活動方針を中間的に確認し、今後も自動車総連を支えていただきますようお願い申し上げます。ともにごんばりましょう!」



池口修次参議院議員

「自動車の代表として、ユーザーの意思が無視され理解できないような道路特定財源の問題について国会で主張し、公平な制度の実現に向け取り組みます。」



榛葉賀津也参議院議員

「おかげさまで2期目の当選を果たすことができました。勝って驕ることなく、足元を見つめ愚直にひたむきに政策を作るよう努力して参ります。」

# 今年も盛り上がりました! 2007 オールスズキハゼ釣り大会



日時:2007年10月7日(日)9:00~14:00  
場所:浜名湖一帯(受付計量は舞阪 乙女園公園駐車場)

参加者:922名(大人612名、子供272名、実行委員38名)  
賞品:ハゼ・その他大物賞など(下表は上位入賞者)

## ハゼ大物賞結果

順位	賞	単組・支部	職場	氏名	組合員名	重量(g)
1位	イオン加湿器	湖西	テフ	渡辺聡一	本人	105
2位	電動歯ブラシ	高塚	セケ	山口春美	本人	89
3位	体脂肪計	スズキ部品浜松	セヨイ	藤谷大地	藤谷哲一	89
4位	MP3プレーヤー	高塚	キト	巖崎陽一	本人	88
5位	MP3プレーヤー	高塚	セカサ	八木友美	八木基裕	86
6位	MP3プレーヤー	高塚	ソシ	竹山五雄	本人	84
7位	MP3プレーヤー	湖西	マンシ	雷永良男	本人	80
8位	MP3プレーヤー	湖西	マンカ	鴨下政雄	本人	80
9位	MP3プレーヤー	平岡ボデー	1G	内山政男	本人	80
10位	MP3プレーヤー	高塚	セイ	鈴木貞夫	本人	79

## その他大物賞結果

順位	賞	単組・支部	職場	氏名	組合員名	魚名	重量(g)
1位	イオン加湿器	ベルソニカ	セサ2	田代勝士	本人	アイゴ	459
2位	電動歯ブラシ	高塚	カP	鈴木義治	本人	セイゴ	307
3位	体脂肪計	高塚	エニ	谷口俊博	本人	イシカレイ	292

10月7日(日)、毎年恒例のオールスズキハゼ釣り大会を開催致しました。今年もスズキ労連加盟組合の組合員やその家族、約900人と大変多くの方々が参加されました。台風が近づいており天候が心配されましたが絶好の釣り日和となり、多くの方が大物を釣り上げ、計量コーナーは大盛況!もちろん、サイコロゲームコーナーもたくさんのお子さんが参加して大盛り上がりでした。



計量コーナーは大忙し!  
皆さんホントによく釣れました。



ハゼではないけどOK!!  
ちなみかわいイブグでした。



今年のハゼは比較的大きめ。  
トップは100g超!!



お子さん向けのゲームコーナー。  
ハゼ釣りより夢中かも!??

## 2007自動車総連 福祉カンパ

### 特別養護老人ホーム「陽光園」にワゴン車椅子移動車を寄贈。

今年、4台目の車両寄贈は静岡県沼津市にある特別養護老人ホーム「陽光園」へのワゴン車椅子移動車の寄贈でした。9月26日(水)、施設関係者、スズキ労連事務局、車両を手配していただいたスズキ自販静岡関係者が集う中、「陽光園」敷地内で寄贈式が執り行われました。まだ、7月にオープンしたばかりで、最新の設備が整い、ピカピカの老人ホームですが、入居されているお年寄り足が不自由になった方がほとんどで、施設長からは「車椅子移動車は大変重宝する。本当にありがたい。」と御礼の言葉をいただきました。この「陽光園」での車両寄贈が今年最後の寄贈となりましたが、前にもお話したとおり、車両寄贈に関する費用は、7月に皆さんにご協力いただいた「自動車総連福祉カンパ」のカンパ金から拠出されております。組合員一人ひとりの「気持ち」の代弁者として、今後もスズキ労連は小規模の社会福祉施設への車両寄贈を中心に福祉活動を行い、社会貢献に努めて参ります。ご協力、誠にありがとうございました。



古川事務局長より施設理事長へゴールドエンキーが贈呈されました。



吉川前顧問が目録を贈呈。

## ご協力ありがとうございました!!

特定非営利活動法人(NPO法人)

交通遺児等を支援する会

第4回チャリティーバザー  
11月3日(土)開催

衣服・陶器・玩具等  
351点もの物品提供  
をいただきました。

8月からお願いしていた「交通遺児等を支援する会」第4回チャリティーバザーへの物品提供に多くの方からご協力をいただきました。スズキ労連分としてなんと全部で351点!なかには未使用のゲームソフトや家電などもありました。これら提供品は自動車総連に一度集約されてから「交通遺児等を支援する会」に提供されます。なおチャリティーバザーでの売上金は病気などにより経済的負担を強いられている母と子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」として使われます。

### 《第4回チャリティーバザー》

開催日:11月3日(土)

時間:午前10時~午後4時

場所:新宿三井ビル55広場



三井ビル55広場



去年の第3回チャリティーバザーの様子。大盛況でした。





## 【スズキ労連加藤会長の挨拶】

本日の大会は、2年間の運動方針の中間年にあたる大会です。この1年間の活動を振り返るとともに、現状認識と課題認識を新たにしながら、今後1年間の充実した活動に向かって、全員で心合わせをしていきたいと思ひます。

### <政策制度改善の取り組み>

一年前の大会で、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙の取り組みを、重要な政策制度改善の取り組みと位置付け活動をスタートしました。

4月の統一地方選挙では、私たちの代表として16年ぶりの新人である田口章副会長を浜松市議会に、7月の参議院選挙では、池口修次さん、榎葉賀津也さん、大塚耕平さんを国政の場に送ることができました。また、今回は初めての取り組みとなりました、浜松市の区割り選挙をはじめ、各地域においても推薦したすべての皆さんが当選を果たすことができました。この間のみなさんの流した汗に感謝申し上げます。

今回の参議院選挙において、民主党が参議院の第一党に躍進をいたしました。参議院選挙は確かに政権選択の選挙ではありません。しかし、私たちが目指す「2大政党が切磋琢磨しながら進める政策本位の政治」という点においては、大きなステップを踏み出すことができましたと思ひます。

今、政治には国民受けを狙う政策はいりません。大局観とスピード感を持って、厳しい財政状況や少子高齢化、不安定雇用の増大、格差の拡大、外交問題など、多くの課題の克服に向けて、安心した将来を切り開く「真の改革」を期待しています。

今、まさに国も地方も重大な局面を向かえ、政治も私たち労働組合も果たす役割と責任はますます大きくなっています。今後も更に連携を深め、安心できる生活づくりと社会づくりという視点で、政策課題に取り組んでまいりますので、よろしく願ひいたします。

### <自動車産業の状況>

私たちが働く自動車産業は、比較的好調だと言われています。確かに、2006年の四輪生産台数は1148万台と、2002年から5年連続で雇用の目安である1000万台を上回るとともに、1993年以来実に13年ぶりに1100万台を超え、職場では忙しい状況が続いています。しかし、その中身を見ると、輸出は前年に比べて18.1%増加し、596万台と急激に伸びる一方で、国内販売は▲1.9%の574万台と、1998年から9年連続して600万台を割れ、水準的にも30年前の水準にまで落ち込んでいます。

私たちスズキグループも同様の傾向にあり、この4月から6月までの第1四半期の決算を見ても、海外売上げが+26.6%の6598億円と大幅に伸びる一方で、国内売上げは▲3.3%の2347億円と、いまや売上げの約4分の3は海外という状況になっています。

こうして今、日本の自動車産業は、二輪・四輪とも国内市場の成熟化の中で、海外への依存度をますます高めながら進行している状況にあり、常に為替の変動や現地の経済状況、貿易摩擦の再燃などのリスク要因を抱えながら進展している状況にあると捉えています。

こうした中で、生活基盤である国内販売の活性化は不可欠であり、産業レベルにおいては自動車総連と自工会の間で、国内販売の活性化を重要なテーマとして意見交換をしていますが、私たちグループにおいても、労使で知恵を出し合い人づくりと付加価値の高い商品づくりを通じて生活基盤を確立していきたいと思ひます。

### <スズキグループの状況>

今年度は、2005年度から5年間で国内・海外の工場を中心に莫大な投資を行ない、新たなステージに向かってチャレンジしていく中期5ヵ年計画の3年目を迎えています。

この2年間、海外においてはハンガリー、インド、をはじめ海外工場の生産能力の増強対応を着実に進めながら、生産指導や応援などを行ってきました。

また、相良の新工場も2009年度のフル稼働に向けて来年の春頃からは徐々に稼働していきます。

こうした中で、今後1・2年は本格稼働に向けての重要な仕上げの時期に入ると感じています。

この1・2年を仕上げの時期と捉えたときに、今後は多くの人への対応と部品や販売を含めてのグループ政策という課題が想定されます。

人に関しては、海外工場への支援計画や相良工場が稼働すれば、当然新人だけでの対応は不可能であり、技能や技術のある人たちの指導や応援が求められてきます。

また、グループ政策においては、生産台数が増えていく中で、関連部品企業への生産能力への対応をはじめ、どのようにして部品企業を守り育てていくのか。

そうした課題について、各組合の労使で率直に意見交換を願ひしたいと思ひますし、スズキ労連としても労使会議をはじめ労使の意見交換をさらに深め、課題の共有化をしてみたいと思ひます。

そして、こうしたビジョンを明確にしながら職場に伝えていくことが、働く人の安心感とやる気につながり、中期5ヵ年計画を乗り切る活力につながるものと思ひます。

### <労働時間について>

労働時間については、これまでの厳しい雇用環境や競争の熾烈化、企業業績の2極化などを背景になかなか進展が図ることができませんでした。

しかし今、雇用環境に改善の兆しが見えはじめ、労働時間の適正化への対応も求められています。働く者の健康と魅力ある企業づくりという視点に立って、設備能力や人員の確保、人材育成、仕事のしくみ、働き方を通じて総労働時間短縮に向けて、労連全体の取り組みとして進めていきます。

### <多様化する雇用形態の中で>

現在、私たちの職場では正規社員に限らず、多くの派遣社員や請負、期間契約のみなさんが働いています。同じ職場で働く仲間として、働きやすい職場環境の改善はもちろん、仕事や生活での悩み、ストレスといった相談を、労働組合の役割と制度の改善などを通じて一体感のある職場づくりを推進して対応していくことも重要であり、同じレクリエーションや福祉活動、政策制度の改善などを通じて一体感のある職場づくりを推進していく時がきていると思ひます。同じ勤労者、同じ職場で働く仲間という視点で連携を深めていく議論を願ひいたします。

### <仲間を増やす活動>

この3年間で、スズキ新潟販売労働組合が労連加盟をし、浜松パイプ、岐阜スズキ、スズキ販売、遠州精工に労働組合が結成されました。そして本年も、4月にスズキ販売労働組合の仲間として、自販滋賀支部と奈良支部が結成され、新しい仲間を迎えての大会となりました。

現在、スズキ販売労組は14支部・組合員も1400名となり、中央労使協議会や支部労使協議会の開催と職場への情報発信を通じて、風通しの良い職場づくりを基本に一步一步活動を進めています。

しかし、秋や春の取り組みの構築など販売特有の課題も多く、自立に向けてはまだ時間が必要です。同じスズキグループに働く仲間として、今後も最大限の下支えをしながら共に歩んでまいります。

### <最後に>

この大会をもって田口副会長・柴田中執・吉川顧問、大庭顧問が退任をされます。

これまでの活動に感謝申し上げますとともに、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

最後に、みなさんのご支援とご協力を重ねて願ひを申し上げ、執行部を代表しての挨拶といたします。

# 議件 — 報告承認事項

## 《議 件》

### 1) 第36期役員選挙の件 提案者…光田事務局次長

<第36期役員定数>

副会長 4名→3名

中央執行委員 変更なし

<第36期役員選挙>

選挙区分 中央執行委員

補充人数 1名

任期 36期末まで

選挙運営 選挙管理委員会に委嘱する。



秋場副会長



光田事務局次長

### 2) 政治顧問委嘱の件 提案者…秋場副会長

現政治顧問勇退に伴い、スズキ労連規約第5章第34条に基づいて、平成19年統一地方選挙において初当選を果たした組織内議員の「田口章」を政治顧問として委嘱する。

選挙では皆さんに大変お世話になりました。何の実績もない私へのご支援は、これから浜松市政の改革を期待しているというメッセージだと思ひ、しっかり活動していきます。先日、浜松市議会の質問に立ち、リーフレットの前身で訴え続けたことを質問して参りました。行政改革をしっかりとやり、お金の使い方を変えていく、浜松が持っている高金利の借金を早く無くす努力等を訴えました。新しい取り組みを始める前には足元を見直すことが求められていると思ひます。地方分権と言われていますが中央での指示を待つだけでなく地方から日本を動かしていく、そんな気概をもってこれから活動していきたいと思っております。



議会報告時に新顧問としての抱負を述べる田口議員。

### 3) 第36期予算(案)の件 提案者…佐藤事務局次長

質 問	執行部答弁
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算(案)の中で、数字の根拠があるのは「会費収入」「自動車総連会費」のみ。他の詳しい情報はない。また、活動を活発にするの事だが、回数を増やすのか内容を強化するのか明確にしてほしい。</li> <li>・「予算編成にあたって」の中で、収入の部のシュミレーションは組織人員が増えることを見込んだだけの増加額でしかなく、人数増加に合わせ、JAW会費、出張旅費等支出が増えるので、赤字が解消されるとは思えない。支出の部分削っていく、というところを明確に示す必要があるのではないか。労連でやらなければならない活動だけに絞り、しっかりした活動に特化した予算編成を次回大会には示してほしい。</li> <li>・文体行事の見直し、検討とあるが、具体的にはどのように考えているのか。</li> </ul>	<p>&lt;佐藤事務局次長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算(案)の細かい部分は事務局では用意をしてあり、中央執行委員会では確認済み。しかし、この予算(案)では内容が分かりにくいということもあるので、次回もう少し数字が見える形で検討していく。</li> <li>・人数増加し会費収入が増えるから単年度赤字が解消するわけではもちろんなく、そのため支出の改善もしていくという意味で資料をつけたのだが、この内容だけでは不足部分もある。具体的には決定していないが、36期の財政委員会にて検討し、単年度赤字を解消していく方向になると思う。</li> <li>・もちろんこれからの議論の上での話だが、スズキ労連が全国規模になり公平性を保った形での文体行事をやるのが難しい状況。浜松地区中心で行っている行事を徐々に少なくし、セミナー、情報発信できるものなど、全国から参加できるような教育などを中心に、単組とダブらないような形でやっていきたいと思ひます。</li> </ul>



## 《報告承認事項》

### 1) 第35期活動経過報告 報告者…古川事務局長

質 問	執行部答弁
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総労働時間短縮の中で有給休暇の取得等も進めていると思ひますが、労連各単組における有休の取得状況を教えていただきたい</li> <li>・総合生活改善の取り組みの取り組みと結果で、賃金制度維持分はどういう形で確保されたかと判断したのか。また、要求と回答と言葉が違うのだが、単に言葉の違いだけで内容としては一致したものであるか確認されているのか</li> </ul>	<p>&lt;古川事務局長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有休データは毎回労連中央執行委員会で確認されている。昨年一年間の集計だと、12組合平均 年間8.1日。メーカーを入れて8.3日。総労働時間の短縮にむけて取り組む話は、関連労使会議の中でもしており、現状の有休の状況と有休を取りにくい職場の改善について労使で話をしている。取り組みは近年やり始めたばかりなので、様子を見ながらフォローをしていきたい。</li> <li>・賃金制度維持分の内容確認は労連の集計のなかではせず、各組合で確認してもらっている。実態調査を参考に昨年今年の差額、カーブの変化点を見ながらサポートはしている。今回の表は回答文書の集計という形で、記載されている言葉を使用している。まだ問題を吟味し各組合で確認するという問題は残されていると考えているし、今後もそのフォローを労連内で単組と一緒にやっていきたいと考えている。</li> </ul>



### 2) 第35期会計決算報告 報告者…佐藤事務局次長

### 3) 第35期会計監査報告 報告者…青島会計監査人

ご苦勞様でした  
ありがとう  
ございました

# 『功勞表彰・特別表彰』

長きに渡りスズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会を期に退任される役員、顧問の方々に対し、そのご功勞に感謝と敬意を込めて表彰をいたしました。

## <退任役員・功勞表彰>

氏名： 田口 章  
役員期間： 29期～35期（2000.9～2007.9）  
役職： 中央執行委員 2年  
副会長 5年（自動車総連政治委員5年）  
出身単組： スズキ労働組合

氏名： 柴田 義和  
役員期間： 30期～35期（2001.9～2007.9）  
役職： 中央執行委員 6年  
（自動車総連輸送部会6年）  
出身単組： スズキ輸送梱包労働組合



加藤会長を囲んで



田口副会長



柴田中執

## <退任顧問・特別表彰>

氏名： 吉川 彰  
顧問期間： 21期～35期（1992.9～2007.9）  
略歴： 昭和36年12月 鈴木自動車工業株式会社（現スズキ株式会社）入社  
昭和47年 1月 鈴木自動車労働組合 中央執行委員  
昭和51年10月 “ ” 書記長  
昭和53年10月 “ ” 副中央執行委員長、  
スズキ労連副会長  
昭和54年 4月 浜松市議会議員当選 以降連続3回当選  
平成 1年 6月 全国市議会議員会々長表彰受賞  
平成 3年 4月 静岡県議会議員当選 以降連続4回当選  
平成 4年 9月 スズキ労連・スズキ労働組合 顧問就任  
平成14年 5月 藍綬褒章 受章  
平成19年 4月 静岡県議会議員勇退



吉川顧問

氏名： 大庭 静男  
顧問期間： 21期～35期（1992.9～2007.9）  
略歴： 昭和36年 3月 鈴木自動車工業株式会社（現スズキ株式会社）入社  
昭和47年10月 鈴木自動車労働組合 高塚支部書記長  
昭和49年10月 “ ”  
昭和55年10月 中央執行委員、スズキ労連中央執行委員  
鈴木自動車労働組合 高塚支部書記長  
中央執行委員、スズキ労連事務局長  
スズキ労連 事務局長  
昭和59年10月 浜松市議会議員当選 以降連続4回当選  
平成 3年 4月 スズキ労連・スズキ労働組合 顧問就任  
平成 4年 9月 浜松市議会議員勇退  
平成19年 4月



大庭顧問

## スズキ労連 第36回定期大会 議事次第

開会の挨拶  
資格審査の発表  
議長団の選出  
議長団就任の挨拶  
定期大会役員を選出  
1) 議事運営委員の選出  
2) 選挙管理委員の選出  
3) 書記の選出

会長挨拶  
来賓の紹介・祝辞  
祝電披露  
議事日程の発表

議件  
1) 第36期役員選挙の件  
2) 政治顧問委嘱の件

第36期役員選挙告示

<休憩>

報告承認事項

1) 第35期活動経過報告  
2) 第35期会計決算報告  
3) 第35期会計監査報告

第36期役員選挙

議件

3) 第36期予算（案）の件

議会報告

第36期役員選挙結果発表

退任役員・顧問紹介 挨拶

定期大会役員解任

議長団退任の挨拶

がんばろう三唱

閉会の挨拶



## <第36期役員選挙結果>



抱負を述べる平塚新中執

役員退任に伴う役員補充選挙において平塚新中央執行委員が信任されました。

平塚訓孝  
新中央執行委員挨拶

只今スズキ労連中央委員に選任されました平塚と申します。労連中執ということで、大変重い任務を授かりました。ひとつひとつこれから勉強していきながら、一日も早く皆さんのお力になれるよう努力していきたいと思いますので、今後ともよろしく願っています。



新役員を迎え、第36期がスタートしたスズキ労連執行部です。

第36回定期大会において決定した議件に向け、また運動方針の具体的な取り組みに向け、労連加盟組合一丸となり頑張っていきたいと思っております。今期もご協力の程宜しくお願い申し上げます。